

第6回国際熱帯畜産セミナー（ISTAP）が2015年10月20-21日にインドネシアのガジヤマダ大学で開催され、吉村、磯部、大学院生の西川萌美さんが参加しました。ガジヤマダ大学畜産学部とはRCASの活動を中心に生物圏科学研究科が交流協定を締結しています。初日は午前中のプレナリーセッションに続いて、午後にポスター発表と口頭発表があり、吉村が「ニワトリの感染防御」についての招待講演を行いました。2日目には磯部と西川さんがそれぞれ「乳房炎と感染防御」についての口頭発表を行いました。西川さんは豊富な研究成果をわかりやすく説明し、多くの参加者から関心をいただいて、最優秀発表賞を受賞しました。

高温下での家畜生産には暑熱ストレスや疾病の予防など難しい課題が沢山あります。温暖化が深刻化しているなかで、持続可能な畜産のノウハウや研究の情報を交換する有効な機会でした。



第6回国際熱帯畜産セミナー

大会を終えた翌日には、ガジヤマダ大学の教員や学生と懇談会を設け、RCASメンバーとの共同研究の方法について情報交換を行いました。数名の学生さんは広島大学への留学を強く希望しており、研究内容や奨学金についての熱心な質問を受けました。



RCAS とガジヤマダ大の懇談会